

ミチシルベ

— 逗子・屋敷通りにおける景観デザイナー —

阪本一真 (福井大学)
高垣光志 (大阪市立大学)
七尾景子 (弘前大学)
福井麗 (大阪市立大学)
八木厚輔 (明治大学)
山本有紀子 (山口大学)

逗子・屋敷通り

ここは逗子にとって重要な場所

人の記憶

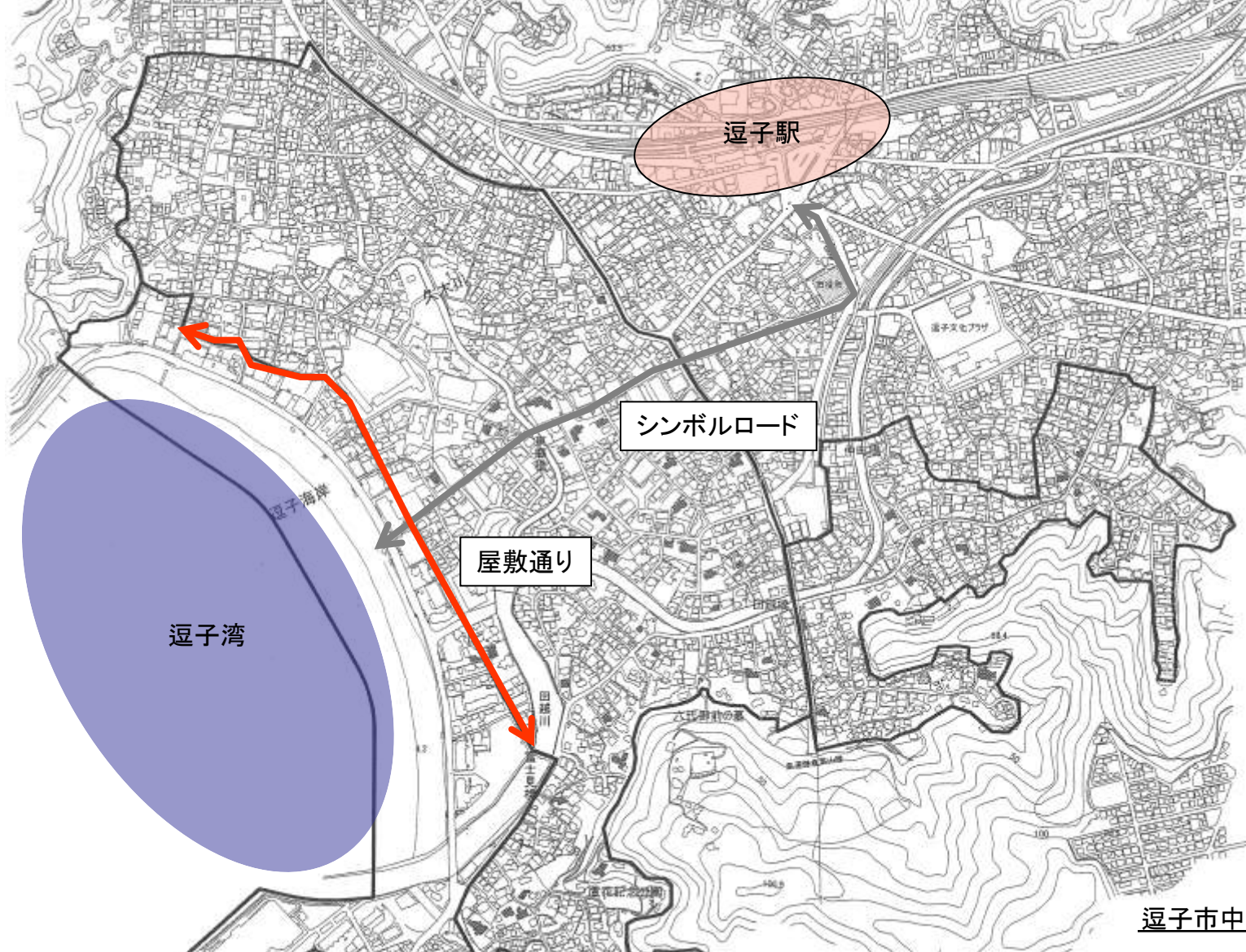
人の生活

人のふれあい

この道のあるべき姿

そのミチシルベ

現状分析



逗子市中心地MAP

敷地

現状分析

—

コンセプト

—

評価

—

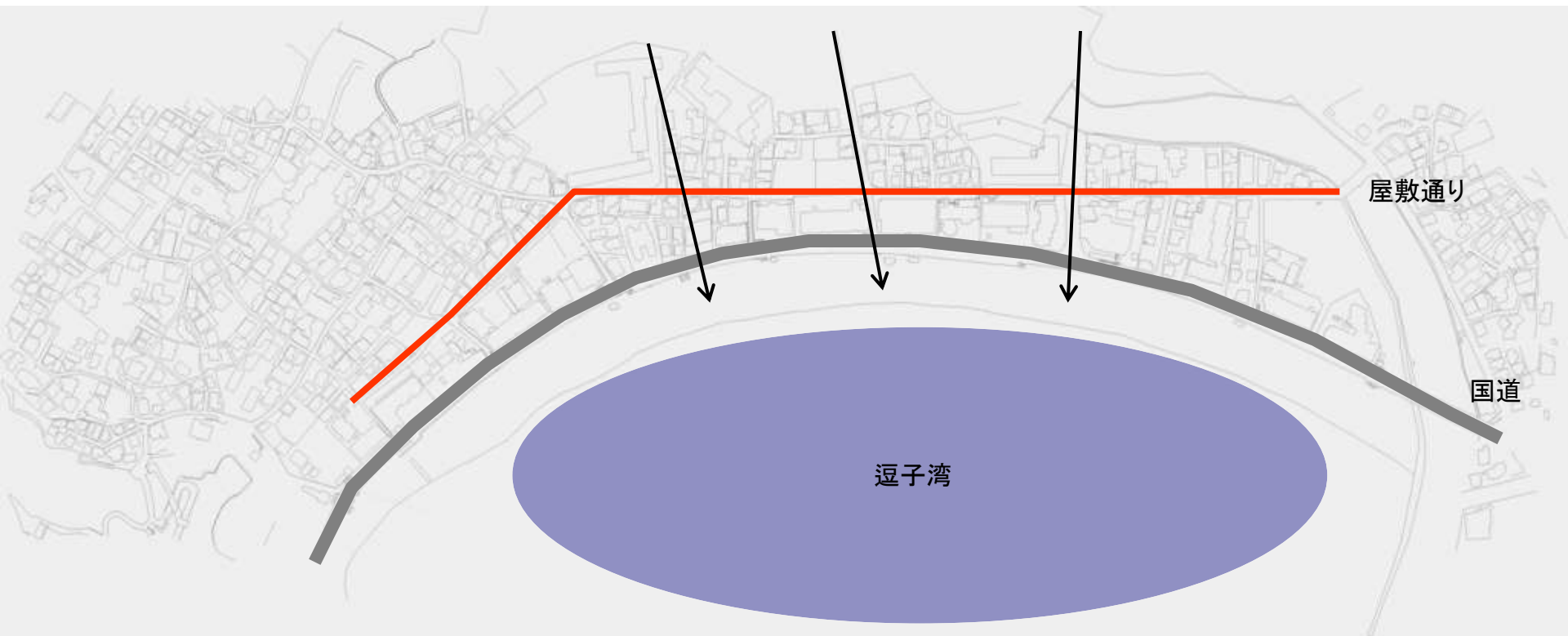
提案

屋敷通り

- ・旧別荘地の名残
- ・日本的景観
- ・海を感じさせる

→独自のアイデンティティーを持ち、逗留らしさを感じさせる道。





・国道の裏通り
(車の抜け道)

・駅から海への動線に垂直
(交わる場所に引き込みがない)

→陽のあたらない場所

現状

—場所性—

現状分析

—

コンセプト

—

評価

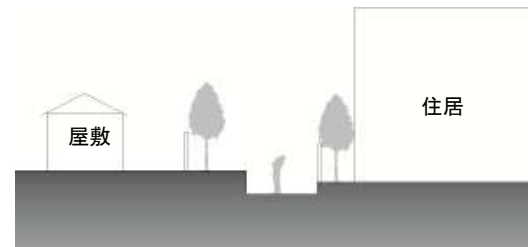
—

提案

section A



section B



現状

—シークエンス—

現状分析

—

コンセプト

—

評価

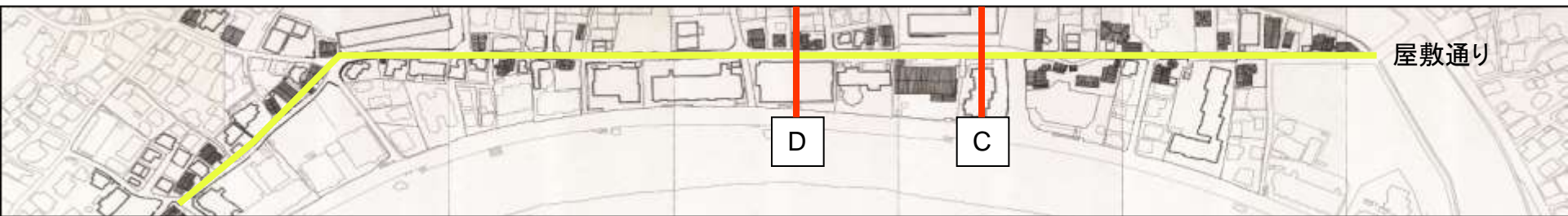
—

提案

section C



section D



現状
—シークエンス—

現状分析

—

コンセプト

—

評価

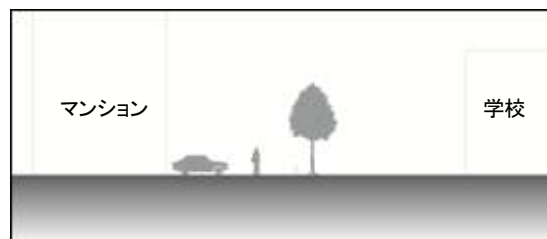
—

提案

section E



section F



現状

—シークエンス—

現状分析

—

コンセプト

—

評価

—

提案

section G



section H



現状

—シークエンス—

現状分析

—

コンセプト

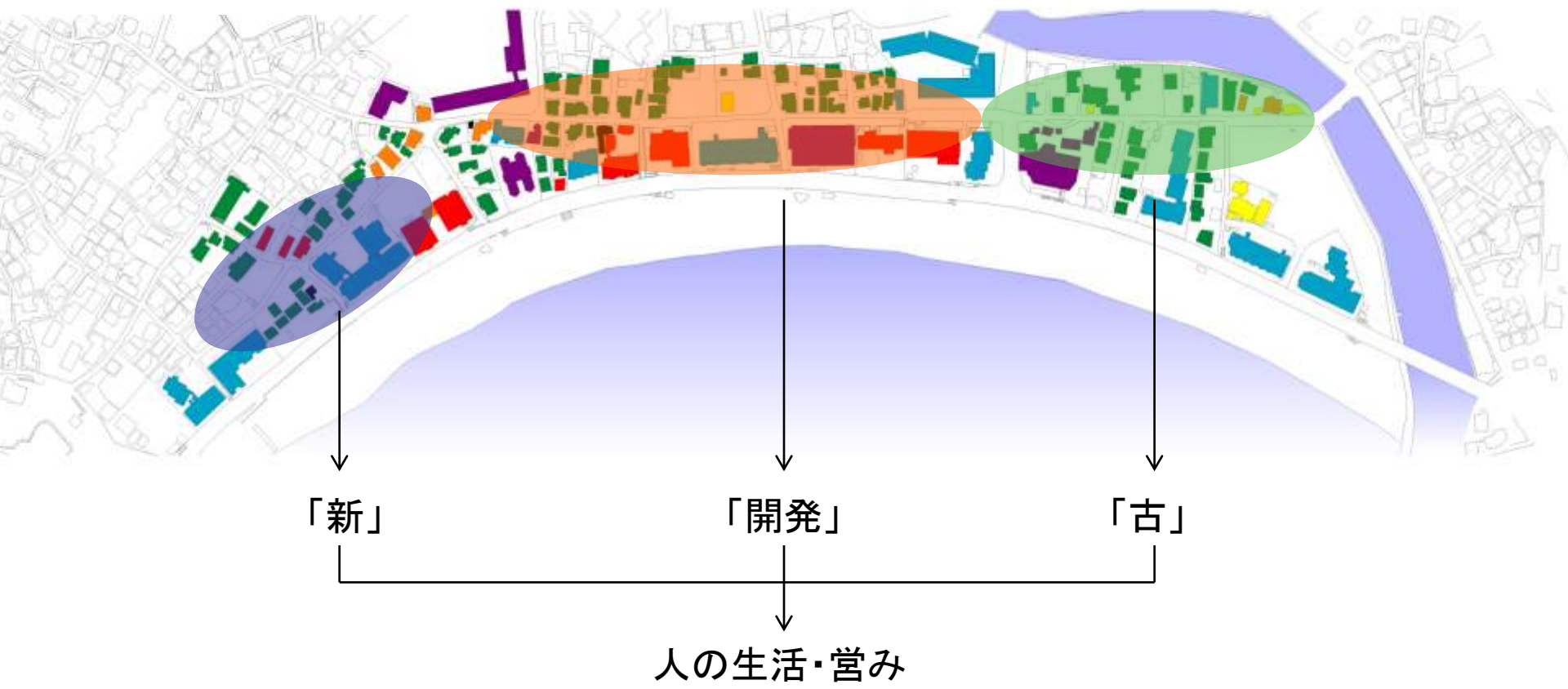
—

評価

—

提案

- 公共文化施設
- 住居+商業
- 集合住宅
- 車庫
- 住宅
- その他
- 商業



現状
—エリア—

敷地

—

コンセプト

—

評価

—

提案

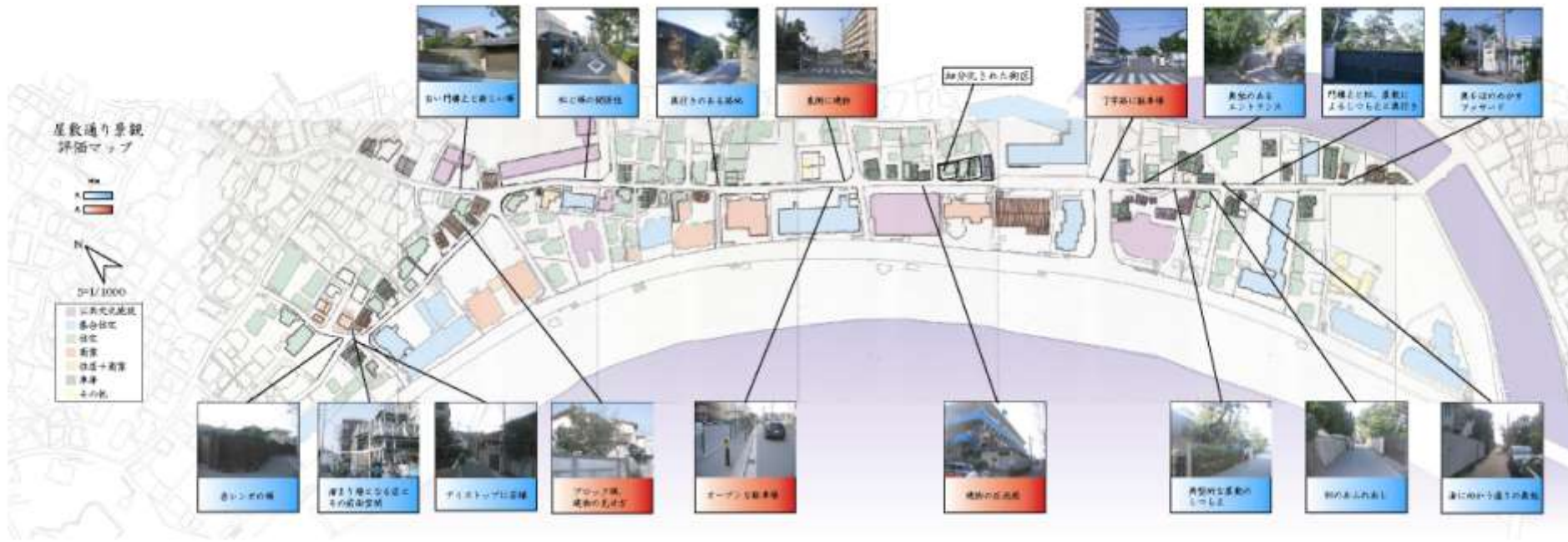
コンセプト

過去から未来への様々な動きの中、その動きを活かし、
エリアごとにその場の人の生活(住民・仮住民・観光客)を垣間見る
ことのできる道のデザインを行う。



人のための道へ

分析・評価



評価マップ

敷地 — コンセプト — 評価 — 提案

評価基準:

①その場の生活に適しているか

②逗子らしさを現しているか



松のあふれ出し



奥性のあるエントランス

good

敷地

—

コンセプト

—

評価

—

提案



道に面した駐車場



建物の圧迫感

bad

敷地

—

コンセプト

—

評価

—

提案



現状の評価 → ガイドラインを作成 → エリアにアウトプット

3つのモデル地区を提案

モデル地区

敷地

—

コンセプト

—

評価

—

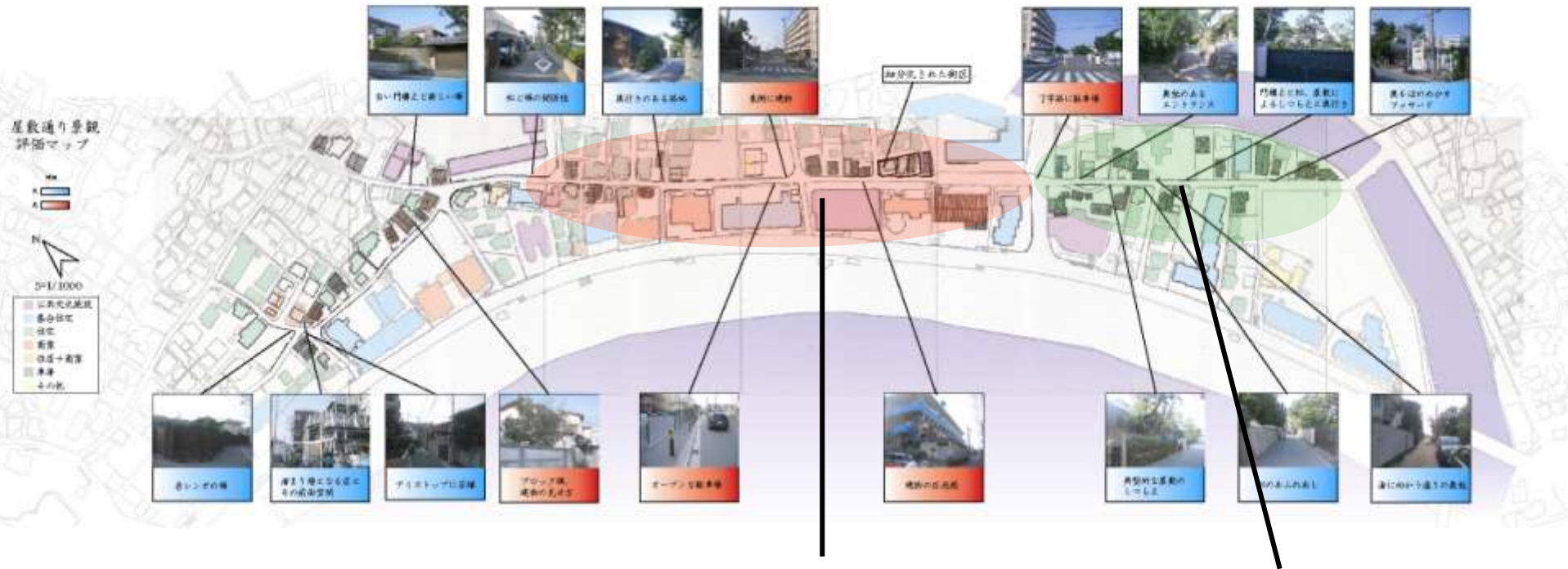
提案



「れきしの界隈」
時代×見え隠れ×DNA

モデル地区

敷地 — コンセプト — 評価 — 提案



「にぎわいの界隈」
歩く×見る×休む

「れきしの界隈」
時代×見え隠れ×DNA

モデル地区

敷地

—

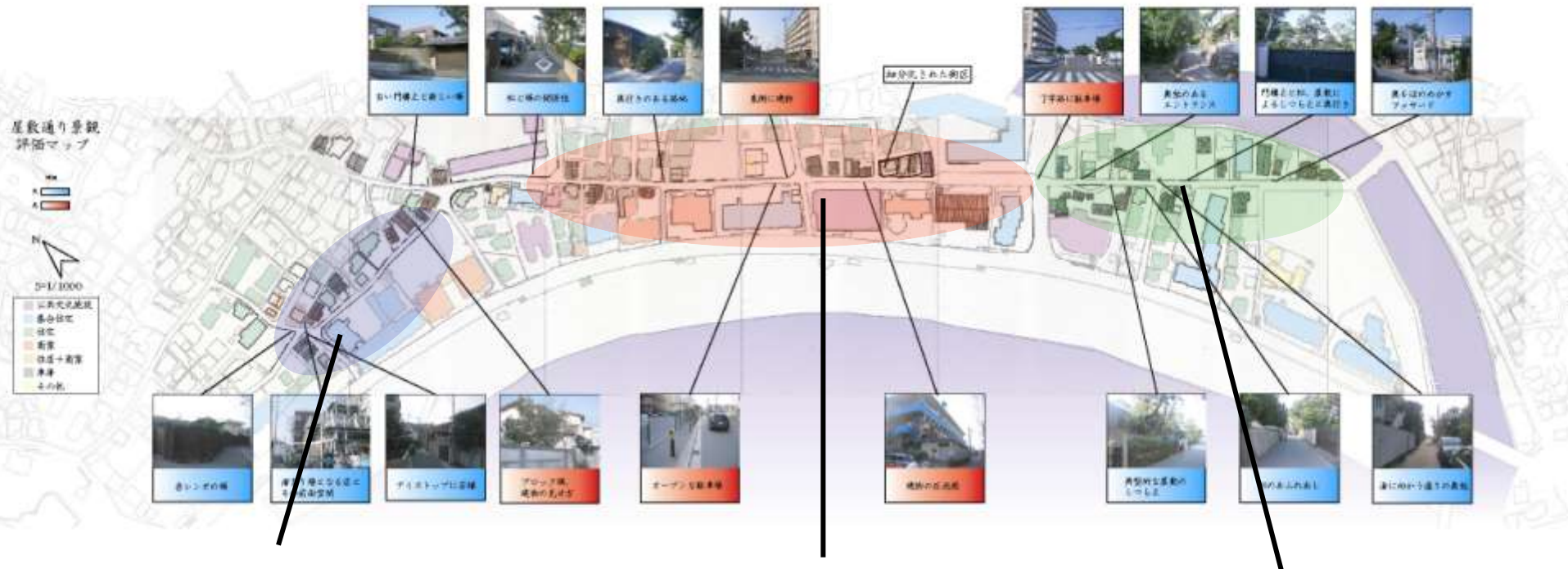
コンセプト

—

評価

—

提案



「ふれあいの界隈」
新旧×仲間×水

「にぎわいの界隈」
歩く×見る×休む

「れきしの界隈」
時代×見え隠れ×DNA

モデル地区

敷地

—

コンセプト

—

評価

—

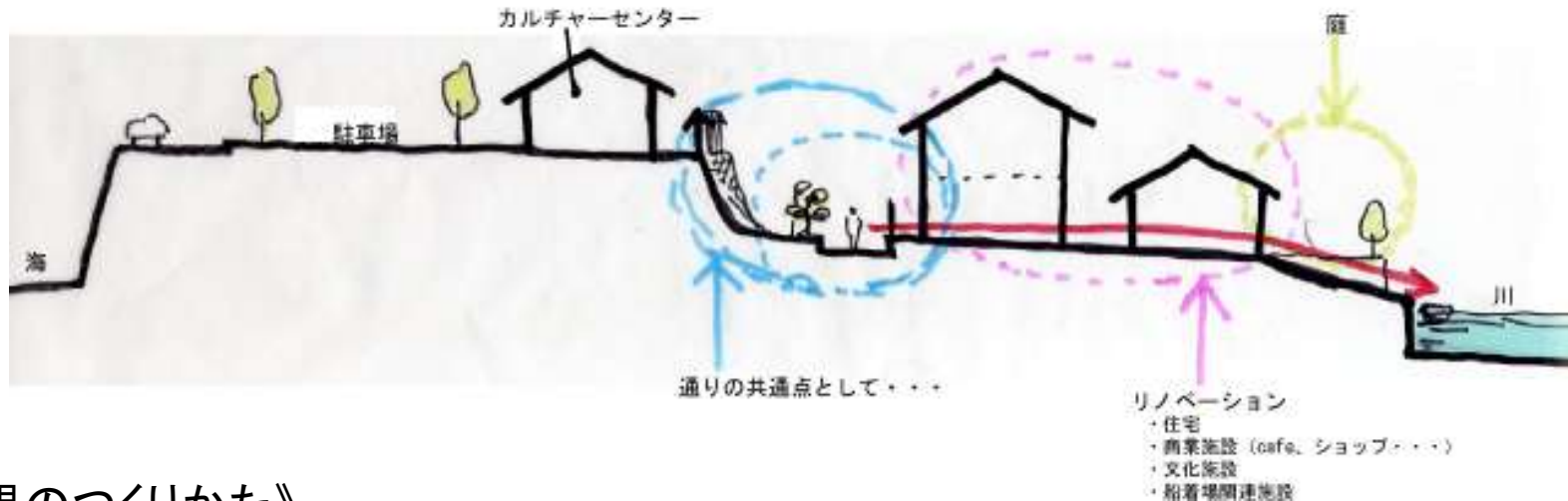
提案

提案

「れきしの界隈」

時代 × 見え隠れ × DNA





《境界のつくりかた》

- ①石垣+松(植栽)、自然の素材
- ②狭い空間を



それによって・・・

- ・昔からある雰囲気への保全
- ・敷地内の奥の生活感が、見え隠れする空間





れきしの界隈
—イメージ—

敷地

—

コンセプト

—

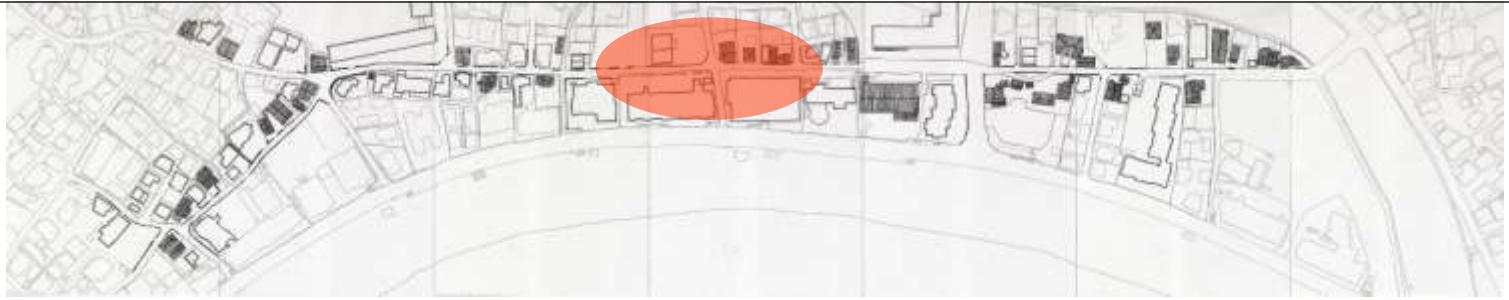
評価

—

提案

「にぎわいの界隈」

歩く×見る×休む





屋敷らしさを演出するしつらえ（石垣など）は出来るだけ残します。

歩いて楽しい・見て楽しい・休んで楽しい空間を演出します。（BAR・CAFE・POCKET PARK）

- 海へ；途中のカフェに立ち寄ったり、訪れる人々はゆったりとした時間をすごします。住民にとっても安らぎの空間となります
- お家へ；ゆっくりと食事を楽しんだりして楽しい時間をすごし家路へ。ポケットパークは荷物を整理したり足を洗ったり。舗装は裸足でも平気なやわらかブロックなので安心してどうぞ。



にぎわいの界隈
—イメージ—

敷地

—

コンセプト

—

評価

—

提案

「ふれあいの界限」

新旧×仲間×水



- 海側の中層建築物(マンションなど)の1F部分は、
公開性の高い施設を挿入する。さらに通りから海へのぬけを確保する。
- サーフィンを楽しむ人たちの雰囲気を感じやすいように境界部分には、
塀や壁で敷地を囲むことを禁止する。
- 通りは、現在の親しみやすいスケールの幅員を守る。
- 木造建築、ペンキ塗仕上げ
- 路地空間の保存



ふれあいの界隈
—イメージ—

敷地

—

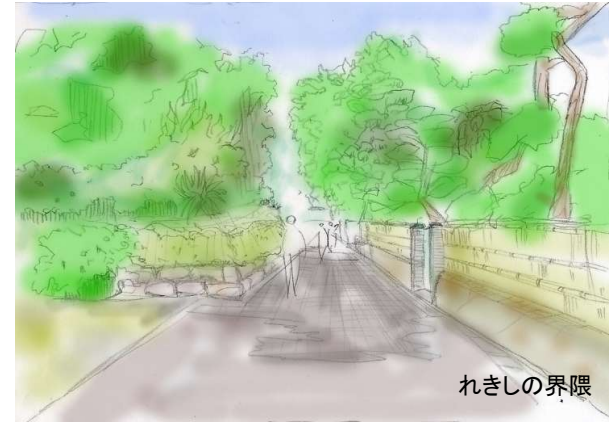
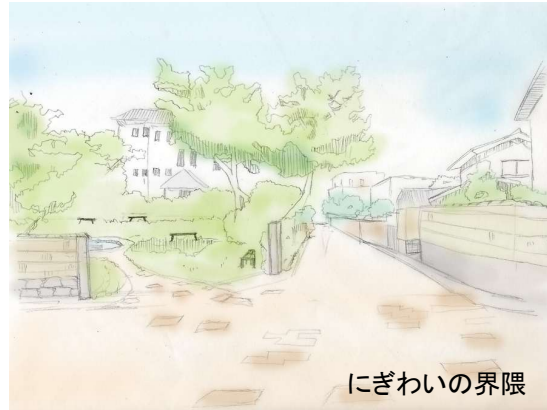
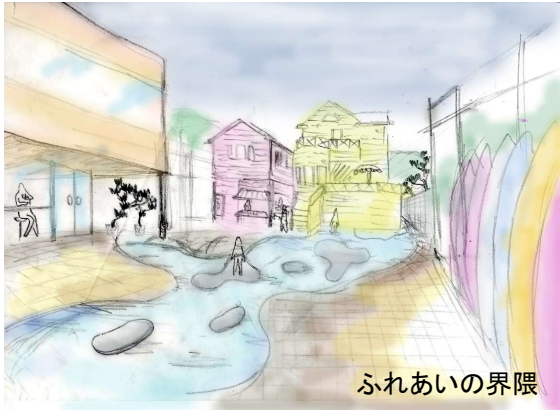
コンセプト

—

評価

—

提案



人の生活・営み



このガイドラインが屋敷通りの景観を育む指針となっていく。

まとめ

敷地



コンセプト



評価



提案